



みかんについて調べよう！

みかんは、愛媛県を代表するくだものです。最近では、2025年3月に「紅プリンセス」の本格販売が始まるなど、新しい品種もたくさん誕生しています。みかんについて調べるときに役立つ資料をご紹介します。

①みかんについて、いろいろ知りたい！

『みかんのひみつ』

鈴木 伸一／監修 ひさかたチャイルド
2007年
(請求記号:625-ミカ-2007)

みかんの花が咲いてからオレンジ色の丸い実ができるまでの様子を、写真で紹介しています。みかんの実の一房(ひとふさ)には、つぶが何個つまっているの？ みかんのへたを見れば、房(ふさ)が何個あるかわかる？ など、「みかんのひみつ」がのっています。

『しらべてみよう！ 47都道府県のくだもの』

河鱒 実之／監修 野菜・くだもの探検隊／
編著 汐文社 2018年
(請求記号:625-シラ-2018)

全国47都道府県の、それぞれの土地で生産している果物(くだもの)について、果物の写真や生産地の地図などでわかりやすく紹介しています。この本を見ると、愛媛県以外でもみかんなどのカンキツを育てていることがわかります。愛媛県については、92ページを見てみましょう！

『どこを食べているの？ くだもの』

藤田 智／編著 汐文社 2023年
(請求記号:625-フサ-2023)

みかんのつぶつぶの果肉や、果肉を包んだ房(ふさ)の名前はなんというでしょう？みかんの果実のつくりについて、写真で説明しています。みかんの仲間のレモン、ユズ、スダチ、カボス、ブッシュukanについても説明があります。リンゴやモモなど、みかん以外の果物についてもものっています。

『ミカンの絵本』

河瀬 憲次／編 石丸 千里／絵
農山漁村文化協会 2003年
(請求記号:625-ミカ-2003)

みかんの種類、ルーツ、育て方、ゼリーやマーマレードなどの加工レシピまで、たくさんの写真やイラストで、わかりやすく紹介しています。みかんを鉢植え(はちうえ)で育てる方法がくわしく書かれているので、これを読めば、自分で育てたみかんを食べることができるかも!?

②「愛媛のみかん」について知りたい！

『愛媛みかんのはなし』

愛媛のかんきつ21推進協議会
2006年
(請求記号:096-エヒ-2006)

「愛媛県はなぜ日本有数(ゆうすう)のみかん産地か」、「みかんの歴史」、「みかんづくりの一年」、「みかん農家の暮らし」などについて、写真や図、グラフなどでわかりやすく紹介しています。愛媛県農林水産部が2014年に発行した改訂版(かいていばん)は、インターネットでダウンロードできます。

『野菜とくだものをつくる ー岩井のレタスと宇和島みかんー』

飯島 博／著 ポプラ社 1995年
(請求記号:096-イヒ-1995)

「調べ学習にやくだつ わたしたちの生活と産業」シリーズの1冊目。宇和島のみかん農家がみかんを育て、収穫(しゅうかく)し、出荷するまでを紹介しています。みかん農家の1日のスケジュールや、選別(せんべつ)作業の様子など、たくさんの写真とともにわかりやすく説明しています。

『ミカンがとどくまで』

岡田 まさる／文 岩崎書店 1998年
(請求記号:096-オマ-1998)

「日本の産業シリーズ・きみの手にとどくまで」シリーズの3冊目。お店で手軽に買えるみかんですが、どのようにして私たちの手に届くのでしょうか？ 中島のみかん農家をはじめ、出荷用段ボールを作る会社や、ジュース工場、卸売り(おろしうり)市場など、みかんに関わる仕事について、イラストや写真などで紹介しています。

③みかんづくりに貢献(こうけん)した人について知りたい！

『松山だんだん物語』

ふるさと松山学 語り継ぎたいふるさと松山 百話 2』

松山市教育委員会／編集・発行 2012年
(請求記号:092-マツ-2012)

「みかん王国愛媛の原点」と題して、「いよかん」を愛媛県に広めた三好保徳(みよし やすのり)さんについて紹介しています。今から100年以上前の明治時代、三好さんが山口県の萩(はぎ)から夏みかんの苗木(なえぎ)を買って帰り、品種改良をかさねて作ったのがいよかんです。三好さんの努力と業績(ぎょうせき)を見てみましょう。

『広がる故郷の心』

ふるさと松山学 語り継ぎたいふるさと松山 百話 IV』

松山市教育委員会／編集・発行 2018年
(請求記号:092-マツ-2018)

「一本の『変わり枝』から～みかん農家を救った新品種の物語～」と題して、みかん栽培に力をつくした宮内義正(みやうち よしまさ)さんについて紹介しています。宮内さんは、栽培が難しかったいよかんの新品種を発見し、「宮内伊予柑」として広めました。期待(きたい)のカンキツ「宮内伊予柑」をどうやって発見したのでしょうか？ その功績(こうせき)をたどります。

『夢のカンキツ 清見』

小泉 光久／著 汐文社 2014年
(請求記号:096-コミ-2014)

「清見(きよみ)は、日本で初めて温州みかんとオレンジを結びつけて作られた品種で、静岡県の西浦昌男(にしうら まさお)さんという研究者が、外国のカンキツに負けない品種を作ろうと、研究を重ねて作りしました。愛媛県でも栽培され、「はるみ」や「せとか」などの品種も清見から生まれています。

④みかんについてもっと詳しく調べたい人は、大人向けの本も見てみよう！

『愛媛県史 社会経済1 農林水産』

愛媛県史編さん委員会／編 愛媛県
1986年 (請求記号:K200-31)

401ページから、「愛媛の果樹園芸」という項目で、みかんやその他の果物について、明治時代、大正時代、昭和時代に分けて、果樹栽培についてくわしく説明しています。608ページからは「愛媛の果樹園芸史年表」があります。

『愛媛県果樹園芸史』

桐野 忠兵衛／編 愛媛県青果農業協同組合連合会 1968年
(請求記号:K625-6)

愛媛県青果農業協同組合の創立20年を記念して出版された本。50年以上前の出版なのでデータは古いですが、カンキツだけでなく、梅(うめ)や梨(なし)など他の果物もふくめ、愛媛における果樹栽培のはじまりや歴史、生産技術の発達などの情報がくわしくのっています。

『カンキツ大事典』

農文協／編 農山漁村文化協会 2024年
(請求記号:625.3-カン-2024)

種類の多いカンキツの分類や、生育過程、各品種の栽培技術、貯蔵管理、カンキツの病気など、カンキツに関するあらゆる情報をくわしく見ることができます。「精農家の経営と技術」として、1471ページから愛媛県の農家も紹介されています。

インターネットも活用しよう！

愛媛かんきつ部 <https://kankitsu.aifood.jp> ◯ 愛媛県食ブランドマーケティング課が結成した“愛媛かんきつ部”のホームページ。旬がわかるカレンダーや、カンキツの種類、研究レポートなどのコンテンツがあります。いよ観ネット <https://iyokannet.jp/feature/mikan/top> ◯ 愛媛県の公式観光サイト。みかんについての特集で、愛媛のみかんがおいしい理由や種類、愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」の紹介もあります。

★①～③で紹介した本は、パスファインダーのコーナーにあります。

★紹介した本以外も見たい人は、カウンターの人にたずねてみてください。

【お問い合わせ先】愛媛県立図書館(仮設図書館)
〒791-8057 愛媛県松山市大可賀2丁目1番28号
アイテムえひめ3階スカイホール
TEL:089-941-1441 FAX:089-941-1454
e-mail:kodomo@libnet.ehimetosyokan.jp
URL <https://lib.ehimetosyokan.jp>